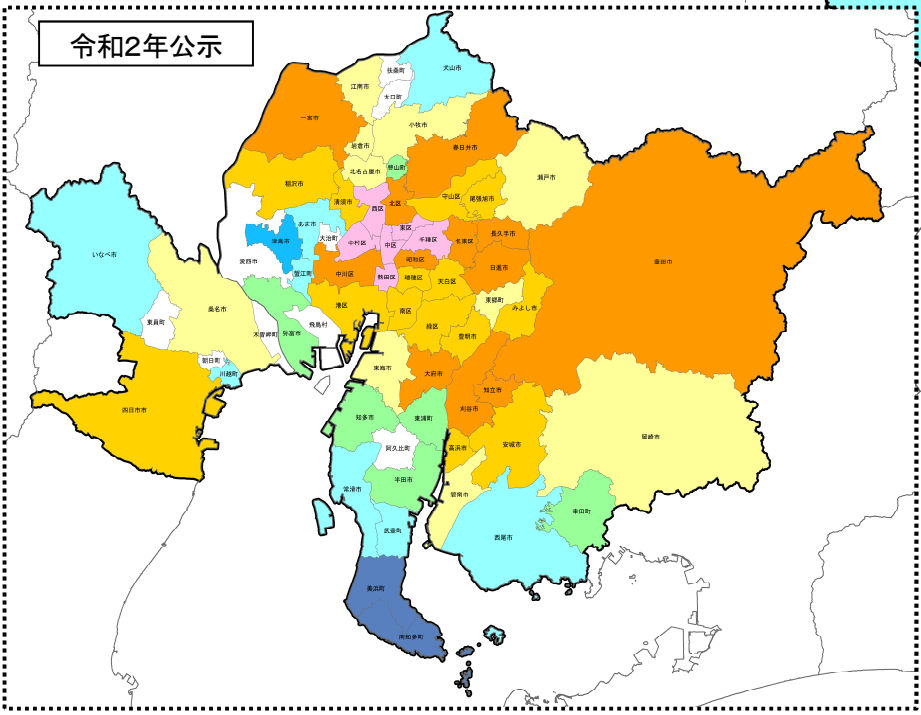
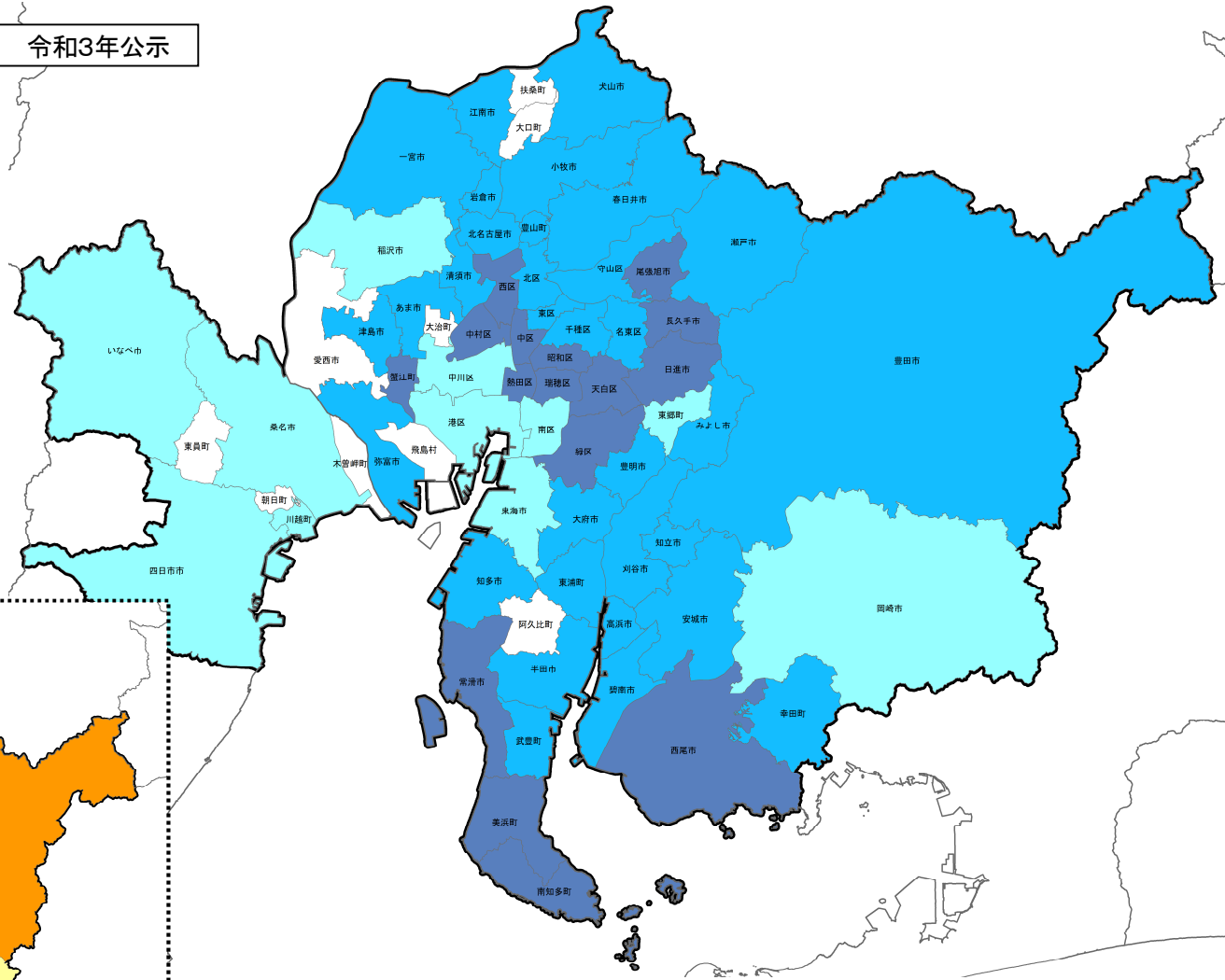


名古屋圏の商業地

※（ ）は前年変動率

愛 知 県	○ 名古屋市では、2.1%下落(7.7%上昇)。16 区全てで上昇から下落に転じた。 ・ 市中心部では、コロナ禍により、店舗・ホテル需要の減退、オフィス空室率の上昇も見られ、中区、中村区、熱田区等でも上昇から下落に転じた。 ○ 西三河地域及び尾張東部地域では、自動車産業をはじめとする地域経済の先行き不透明感により、上昇から下落に転じた市町が見られる。 ○ 尾張西部地域及び知多地域では、下落が続いている市町が見られ、下落率は拡大した。
三 重 県	○ 四日市市では、0.5%下落(1.2%上昇)。コロナ禍で店舗・マンション需要等が減退し、上昇から下落となった。 ○ 桑名市では、0.3%下落(0.6%上昇)。店舗需要等が減退し、上昇から下落となった。

市区町村別の状況（名古屋圏・商業地）



※圏域内の白色部分は、継続地点が設置されていない市区町村である。